活動状況のお知らせ

8月　活動報告			9月　活動報告		
1	金	ボラ体験受け入れ（おいで屋）	1	月	運営企画会議
		運営企画会議・デイハウス定例会（通）	4	木	バザー部会(地)・展示部会(地)
4	月	県社協夏期講習会	5	金	デイハウス定例会（通）
5	火	デイ食事定例会（通）	6	土	第９回現任介護職員研修会
6	水	子育て支援会議・介護保険担当者会議（訪）	8	月	知多中南部第3回研修会（訪）
7	木	運営委員会・介護保険指定事業者講習会	11	木	運営委員会・大正琴グループ訪問（通）
18	月	さをり織り指導者養成講座			介護保険担当者会議（訪）
		女と男のつどい実行委員会（市）	12	金	デイ食事定例会（通）・大正琴グループ訪問（通）
19	火	自立支援協議会作業部会（障）	16	火	自立支援協議会作業部会（市）
21	木	県商業流通課聞き取り調査	17	水	サポートちた理事会・ヘルパー部会（市）
22	金	マネージメントセミナー(ゴジカラ村)	22	月	理事会
27	水	地域ケア会議（市）	25	木	加古社労士との会議
28	木	社協評議員会	29	月	さをり織り世話人会議

		8月	9月
たすけあい活動	活動時間	577.75 時間	572.5 時間
	利用数	74 件	73 件
	弁当利用者数	136 名	183 名
訪問介護	利用時間	782.25 時間	837.5 時間
	利用者数	68 名	68 名
居宅介護支援	利用者数	12 名	12 名
障害福祉等サービス	利用時間	197 時間	177 時間
	利用者数	21 名	20 名
デイハウスあかり	利用者数	197 名	197 名
おいで屋	利用者数	379 名	472 名

会員数（10月15日現在）	
正会員	87 名
賛助会員	143名＋1 団体
利用会員	108名
合計	338名＋1 団体

賛助会員〔順不同・敬称略〕
田端　加代　　榊原フクエ
後藤　民枝
（10 月 15 日現在）
ありがとうございました

傾聴力とは？　　聞くと聴くはどう違う？

良い聴き手になるために　～傾聴の意味と意義～

主催／常滑市社会福祉協議会・ＮＰＯ法人あかり

日時　　H20 年 12 月 14 日（日）　13：30～15：30
場所　　常滑市福祉会館
講師　　鈴木 絹英氏（特定非営利活動法人　ホールファミリーケア協会理事長）

ホールファミリーケア協会とは

平成 11 年４月に生まれ、生き生き元気な高齢社会を実現のために傾聴ボランティア活動を行っています。全国的普及を目指して講演や養成講座の開催、地方自治体との連携や広報活動などに取り組んでいます。ＮＨＫや新聞、雑誌等にも活動を紹介されました。著書に『「傾聴」～話し上手は聞き上手』等があります。

さあ、あなたも明日からは聴き上手？！

発　行
常滑市塩田町２－135
特定非営利活動法人
あ　か　り
責任者　竹田加津子
TEL/35-4185
FAX/35-6862
http://akari-npo.jp

2008年10月
46号

あかり

おいで屋では手芸・華道・茶道・編み物・和菓子作り・絵手紙と、各種倶楽部活動をしています。和菓子は、季節のお菓子を“歌の広場”のお茶菓子として、いまやおいで屋名物。倶楽部活動は和み屋(塩田町)でも太極拳とさをり織りもやっています。
おいで屋の季節感あふれる家庭料理も「お値打ち」と好評です。
おいで屋未体験の方は是非一度、おいで屋体験をしてみてください。

デイハウスあかりでは毎日楽しく、忙しく過ごします。たまには施設から出て、季節の彼岸花を観賞したり、地域の方に大正琴の演奏会を開いてもらったり。体をほぐす運動だって欠かしません。地元の保育園の運動会にも参加させてもらいました。
壁には折り紙で折った篤姫と家定の壁掛け菊人形が飾られていて、日頃の充実振りが垣間見えます。

おいで屋催し物　10月，11月、ご案内　《月曜～金曜／10時から15時までオープン》

● **展示**（最終日／１４時まで）

江端たみ子絵画展　　**10月27日(月)～11月21日(金)　10:00～15:00**
都築遊水(義之)陶芸展　　**11月25日(火)～12月19日(金)　10:00～15:00**

● **うたの広場(ぱすてるはーと)**　**11月27日(木)**　　**10:00～11:30**
参加費　２００円（会員手作りの和菓子で、お抹茶とともにお楽しみ下さい）

介護職員のための心のケアについて

第９回現任介護職セミナー　　9／6〔土〕　　主催／日本福祉大学　社会福祉総合センター

共感できる話題で、わかりやすい言葉と多彩な表現を用いてお話をしてくださいました。
渡辺哲雄さんの基礎講習のなかで、印象に残った言葉です。
私たちの日常生活の中で、生まれては消える数多くの思い・・・(感情)・・・それは無限のエネルギーであり、それを整理し上手く自己表現ができたときに人の心は満たされる。

自分の思いを言葉や行動にしたときに誰にも理解されなければ苦しくなる。

犭←言葉→犬　＝**獄**

また、自己の思いを言葉や行動にして表現し、それに共感し受け止めてもらえたときに、相手に対して信頼する気持ちを持つことができる。

人←言葉　＝**信**

言葉を発することができても、お互いに聴く姿勢がなければ、会話は成り立たず、コミュニケーションをとることもできない。
また、話を聞く技術についても具体的に説明をしてくださいました。

ありのままを受け止め、否定しないこと。
相手の話を一般論で片付けない。
秘密を守る。
想いを言い換える、言い当てる。
自己決定につなげる。

この技術を用いて話に耳を傾けるとそこに信頼関係が生まれるということを改めて感じ、介護職員として、利用者の心や思いを両手で受け止められる様に努力したいと思いました。　　西村　広美

現任介護職研修は、毎日の活動の確認と利用者さんとのより充実した豊かな日々のためと自身の熟練のために現在介護に当たっている職員が参加するものです。
その中には公が主催するものもあれば独自で案内を見てスキルアップのため参加する研修もあります。そのほか、事業所には必須に、制度変更等で受けなくてはならない講習会などもあります。
あかり会員たちは毎日の活動のほかいろいろな研修会や講習会に出席し、技術や能力のアップに努めています。そんなあかりをどうぞ、よろしくお願いします。

平成二十年度 常滑市表彰で
篤行者として会員の加藤美佐枝さん（多屋）が長年、地域でのふれあい活動が認められ表彰されました。

ゴジカラ村へ行ってきました

「ゴジカラ村」って？それは、「5時から（アフターファイブ）を過ごすように、肩書きを脱いで等身大の人間と人間との付き合いがいつもあるような場所でありたい。そこで時間に縛られず、ゆっくりのんびりすごそうよ」というメッセージを込めて吉田一平さんが長久手町につくった村のこと。サポート知多のマネージメントセミナーから参加しました。

S56年（1981年）学校法人吉田学園「愛知たいよう幼稚園」
S62年（1987年）社会福祉法人「愛知たいようの杜(特養・ケアハウス・デイ・看護ステイション他多数)」
H４年　（1992年）自然幼稚園もりのようちえん
H５年　（1993年）愛知福祉学院〈介護・看護保健学科〉
H15年~(2003年) NPO法人ほどほど横丁

車は名古屋市のベッドタウン、どこにでもあるような街を走っていたと思ったら、急にガタガタ音を立てて、木々の間のデコボコ道へ、着いたところは雑木林の中の広場(駐車場)。８月の暑い最中だったのに心地よく雑木林を風が通り抜けていきます。

みちくさをくえるところ
みちくさをゆるせるこころのあるところ

ゴジカラ村には約１万坪の雑木林の中にようちえん、専門学校、高齢者福祉施設、また古民家が点在している。
主な施設は
①ケアハウス「ゴジカラ村・雑木林館」・・・雑木林の木をなるべく切らないように作られたログハウス風。建物の中にいても林と一体となっており、迷路のようで迷子になりそう。
②「もりのようちえん」・・・3~5歳児の縦割りクラスで、太い丸太作りの高床式の園舎。遊具は一つもなく小さな流れのあるひろ~い庭でこどもたちは一日中自然と戯れる。
③特別養護老人ホーム「愛知たいようの杜」・・・主に認知症の方が入居しており、出入り自由、ご家族が車いすを押していたり、子どもが歩いていたり、庭には白やぎさん、黒やぎさんと呼ばれるヤギ・ウサギ・鶏・・も同居している。

その他、専門学校「愛知福祉学院」・デイサービスセンター「ゴジカラ村」・訪問看護ステーション「ふれあい」・訪問介護ヘルパーステーション「ひだまり」・電気もガスも無い古民家ざわざわ（他２棟）・・・。不規則な雑木林の居心地のよさの中で心がほどけていくことと、どこでも子供の歓声が聞こえ、お年寄りのまなざしがあり、多世代の人と人が関わりあって、うれしい、楽しい・・・「みんながひとつ」という大きな安心感のあるところ。

その他、藤が丘の「ほどほど横丁」、少し離れた街の中にレスパイトハウス「やさしいところ」・グループホーム「ハーモニー」・託児所「コロポックル」と地域へと広がっている。

村長の一平さんが
「いろいろな人が一緒にいることはぐちゃぐちゃでわずらわしい、けれどそこには許しや我慢や癒しがあり、何よりも**立つ瀬がある**」といわれた。

私たちの「あかり」もひとつの小さな社会。それぞれの個性でほんのささやかなことでも楽しみながら、一人一人の立つ瀬があり、おおらかで豊かな会であれと願い、その先に繋がる社会にむけて本当にやりたいことにゆっくり取り組んでいくことができたらと思います。　　竹田　加津子